

## 令和2年度第4回大網白里市地域公共交通活性化協議会 議事録

- 1 日 時 令和3年3月17日（水）午前10時から
- 2 場 所 大網白里市保健文化センター 3階ホール
- 3 出席者 別紙委員名簿のとおり
- 4 配付資料
- ・委員名簿
  - ・次第
  - ・資料1 白里地区コミュニティバスの実証運行の分析及び白里地区における公共交通施策の検討について
  - ・資料1別添1 運行時刻表（案）
  - ・資料1別添2 白里地区コミュニティバス運行路線図（案）
  - ・資料1別添3 運行計画変更により廃止となるバス停
  - ・資料2 増穂地区コミュニティバスについて
  - ・資料3 コミュニティバス車両への広告掲載について
  - ・参考1 令和2年度白里地区コミュニティバス「はまバス」に関するアンケート調査集計結果
  - ・参考2 令和2年度白里地区コミュニティバス「はまバス」に関する利用者アンケート調査集計結果

### 1 開 会

（事務局：加藤岡）

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日は、委員18名中、委員14名、代理出席者1名の出席をいただいていることをご報告申し上げます。

また、本日の会議開催にあたり、会場につきましてはテーブルの消毒を行った上、入口への消毒液の設置、窓を開けての喚起、席の間隔確保などの対策を実施しております。

なお、ご出席の皆様には、会議中、マスクの着用をお願いいたします。

それでは、会議開会に先立ちまして、お手元の配布資料の確認をさせていただきます。

～配付資料について説明～

配布いたしました資料は以上となりますが、お手元の配布資料に不足がありましたら、お知らせください。よろしいでしょうか。

携帯電話は、マナーモードにするか、電話をお切りいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

また、本日は、「大網白里市地域公共交通活性化協議会傍聴規則」に基づき、1名の傍聴者がおりますので、ご報告いたします。

なお、傍聴される皆様には、万が一出席者に感染者が発生した時に備え、住所等の記載にご協力をお願いいただいております。

それでは、これより「令和2年度第4回大網白里市地域公共交通活性化協議会」を開会いたします。

次第に沿いまして、進めさせていただきます。

## 2 会長挨拶

(事務局：加藤岡)

はじめに、本会の会長でございます日本大学 理工学部 轟教授よりご挨拶をお願いいたします。

(轟会長)

改めましておはようございます。会長を仰せつかっております、轟と申します。開会に先立ちまして、ご挨拶申し上げます。

本日は皆様ご多忙のところ、第4回地域公共交通活性化協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。本日の協議会は今年度第4回目となりますが、過去3回はいずれも書面開催とさせていただきましたので、対面形式での協議会は今年度初めてとなり、初めて会議に出席される委員の方もおられます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて本日は、1つの議題と、2つ報告事項についてご審議いただきます。

まず議題といたしまして、「白里地区コミュニティバスの実証運行の分析及び、白里地区における公共交通施策の検討について」をご議論いただきます。

白里地区コミュニティバスについては、平成30年10月から3年間の実証運行期間が、本年9月末で終了することから、これまでの利用者数やアンケートなどの検証結果を基に、10月以降の運行計画案について事務局からご説明をいただきます。その後、報告事項として「増穂地区コミュニティバスについて」、「コミュニティバス車両への広告掲載について」を報告いただきます。

本年度はコロナで大変な状況でありましたので、この状況についてもみなさんで情報共有して、今後どうすればよいか考えていく場になればと思っております。

緊急事態宣言下ですので、こういった中でお集まりいただくのは大変心苦しいですが、しっかりと議論して地域公共交通を維持していかねばならないと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

## 3 委員紹介

(事務局：加藤岡)

ありがとうございました。

次に、次第3「委員紹介」でございます。

令和2年度では、初めてお集まりいただいたの会議となりますので、改めまして委員の皆様をご紹介させていただきます。

なお、ご紹介につきましては、名簿の順にご紹介させていただき、本日ご欠席の

委員につきましては後程ご紹介させていただきます。

恐れ入りますがご起立いただきますようお願いいたします。

日本大学 理工学部交通システム工学科教授 轟 朝幸様

大網白里市副市長の深井 良司でございます。

公募委員 香川 喜久子様

公募委員 池田 良子様

大網白里市社会福祉協議会会長 永野 和子様

大網白里市区長会理事 阿部 孝春様

大網白里市商工会会長 久我 一雄様

小湊鐵道株式会社事業部長 宮崎 隆一様

千葉中央バス株式会社取締役営業部長 中村 隆様

秋葉タクシー有限会社代表取締役社長 秋葉 秀太様

一般社団法人千葉県バス協会専務理事 成田 斉様

千葉県タクシー協会 東総支部

有限会社つくもタクシー代表取締役社長 糸日谷 守様

国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官 佐藤 義尚様

本日は、佐藤委員に代わり、南様が、代理で出席していただいております。

大網白里市参事兼建設課長の林 浩志でございます。

なお、本日所要のため欠席される連絡をいただいております委員のお名前をご紹介させていただきます。

小湊鐵道労働組合書記長 永田 克也様

山武土木事務所所長 秋元 仁様

東金警察署交通課課長 小林 寛史様

千葉県総合企画部交通計画課企画調整班長 渡邊 彰様

委員のご紹介は、以上でございます。

次に、事務局職員を紹介させていただきます。

委員の皆様からご覧になりまして、一番左側が企画政策課長の米倉でございます。

その右側が、政策推進班長の菊池でございます。その右側が、政策推進班 主任主事の弘中でございます。その右側が、主事の小見川でございます。その右側が、主事の高橋でございます。

最後に、本日司会を務めさせていただきます、副課長の加藤岡と申します。よろしくお願いいたします。

#### 4 議 題

(事務局：加藤岡)

それでは、これより議題に入りますが、協議会規約第8条第1項の規定に基づき、

議長を轟会長にお願いします。

**(議長：轟会長)**

それでは、規約によりまして議長を務めさせていただきます。早速議題に入らせていただきますが、議第(1)「白里地区コミュニティバスの実証運行の分析及び白里地区における公共交通施策の検討について」事務局の説明をお願いします。

**(事務局：弘中)**

～弘中主任主事から議題(1)について説明～

**(議長)**

ありがとうございました。詳細を説明していただきましたが、事務局側としては引き続きはまバスを運行していくとのことでした。それでは、ただいまの事に関して、ご質問等ございますか。

池田委員、お願いします。

**(池田委員)**

はまバスの便数は減るということになるのですよね。

私はなるべくバスを利用させていただいています。市役所の方から白里公民館に行く方の時間が、お昼から16時過ぎまでなかったのですが、新しい案だとその間があるのでとても利用しやすくなると思います。

16時台のバスに、50代から60代くらいでお勤めに行かれています方が乗車しているのを何回か見えています。私が乗車するときには必ず乗っていらっしゃる方で、通勤にとっても便利だとおっしゃっていました。若い人たちも乗っていらっしゃるけれども、そういった方々が年齢的にアンケートに入っていないのかなと思っていて、通勤に利用されている方々がアンケートの結果に反映されていないような気がします。

高齢者が買い物や用足しに利用するにはこの便で全然問題がありませんが、通勤に使っていらっしゃる方は夕方の便が必要だと思います。その辺は把握していらっしゃるのでしょうか。

**(議長)**

事務局から回答をお願いします。

**(事務局：菊池)**

はい、16時台の便の減便に対しての影響というご質問でよろしいでしょうか。

確かに16時台の便について、いつも乗車していただいているお客様がいることは

承知しております。しかしながら、その方以外に乗っている方がいないというのが結果として出てきておりました、8便の1便平均というのは、市街地ルートの中で比べてみると低い状況になっております。

コミュニティバスの性質を考えると、毎日乗っていただいていることは非常にありがたいことですが、複数の方に週に何回か乗っていただき、多くの方に利用していただくことが必要です。通勤通学に使う方にとっては改正が悪い影響として出てしまうのですが、多くの方が日中の買い物等に利用していただくことを前提とした中での対応とさせていただいたことをご理解頂きたいと思っております。

#### (議 長)

香川委員、お願いします。

#### (香川委員)

関連で、通勤通学で利用されている方はいつも同じ方ということですが、通勤通学で利用する方は変わっていきますよね。これから通勤通学で利用する方は増えていくと思うのですが、それによって送迎による駅周辺の混雑が緩和されると思えます。

また、もう一点ですが、500円に値上げするということですが、交通弱者を救うために行っている事業でもあるわけなのに、なぜ値上げしなければならないのか。路線バスとの関係ということでさっきおっしゃいましたが、詳しく教えていただけますか。

#### (事務局：菊池)

運賃の値上げについてのご意見ですが、昨年度の活性化協議会においても市街地ルートの運賃を400円と設定することに関しては、委員の方から民間路線バスとの是正が必要であるのご意見、また県の交通計画課からも同じ行き先、同じルートであれば同じ運賃にすべきであるというご意見をいただいておりますが、前回は400円という形で設定をして運行をさせていただきました。今回のルートの見直しは実証運行後の運行となります。既存の路線バスの運賃よりも安く設定するという事は、お客様を取ってしまう恐れがあります。

また、コミュニティバスは民間の路線バスよりも運賃が安くなければいけないということではなく、路線バスと同じような運賃形態とし、路線バスへの影響をなるべく減らし、路線バスが走らないところをコミュニティバスが補完するような位置づけで運行していきたいと考えております。

白里海岸の場合ですと、路線バスの場合は530円ですが、はまバスですと500円で行くことができることから、一部においては、はまバスの方が安い運賃で乗車することができます。下ヶ傍示のあたりからですと、はまバスの方が高くなってしまいますが、その地域にお住まいの方は路線バスを利用していただくことで、

路線バスとの相互共存を目指していきたいと思っております。

ご理解の方、よろしくお願いいたします。

### (議 長)

今お話のあった通勤通学の話ですが、今回の説明の中にはありませんでしたが、この地域には市街地に向かって路線バスが運行していますので、そことうまく連携、調整しながら共存し、路線バスとコミュニティバスが一体としてこの地域の公共交通を守っていくべきだと考えております。

1便平均が目標値に達しない場合は廃止ということからすると、矛盾することになります。ただ細かく見ると、コロナの影響で乗車数が減っていること、住民のみなさんからの要望が非常に強いということを説明いただきました。また市街地ルートだけを見ても1便平均2.1人で目標値を超えています。そういったものを含めて、市街地ルートを基本とし、地区内循環ルートを減便して運行するという事で理解いたしました。

とはいえ、運賃の値上げをせざるを得ないというところもありますし、先ほどありましたように民間バスとの関係で、利便性が上がって、コロナが収束後、地域の活動が活発化していくということが非常に重要だと思います。

13ページの下にありますように、地域の人たちに乗っていただくことが大切だと思いますので、ここにありますのは1つの例ですけれども、自治会等でPRしていただき、地元の人たちに買い物等で使っていただいで維持していただきたいなと思います。非常に苦しい提案だとは思いますが、地区内循環ルートをここで止める以上は、前向きに使っていただくしかなく、今後同じようなことになれば廃止もやむを得ないと思います。

他に何かありますか。成田委員、お願いします。

### (成田委員)

千葉県バス協会の成田です。

轟会長からご指摘のあった資料1の13ページの(3)の時期運行計画の目標値ですが、現在新型コロナウイルス感染の影響により、皆さんが外出を控えたため、1回目の緊急事態宣言下では一般乗合バスの乗客数は千葉県全体で2~4割、2回目の現在では7割程度となっております。現在2回目の緊急事態宣言が発令されていますが、当初では大体今の時期には売上は戻っているだろうと思われていました。しかし現在はまた乗客数が減ってきているという状況です。

記載されている期間での目標値としていますが、新型コロナウイルスの状況でなかなか予想しづらいところです。ここで確定的に目標値を達成しなかったため廃止するのではなく、廃止を協議するといった方向に進めていただいた方が良いかと思っております。便によっては目標値を超えているものもありますので、どのような期間で平均を取るかによっても変わってくると思います。

大分先にはなると思うのですが、廃止を検討するときは協議会でご説明いただいて、判断をした方が良くと思います。

**(議 長)**

確かにコロナで減少している状況からすると厳しいかもしれないですね。香川委員、お願いします。

**(香川委員)**

今成田委員がおっしゃったように、このコロナ禍で小湊バスも減便しているんですよね。私もそれを知らなくて永遠と待ってしまったことがありました。そういう状況ですので、この数字だけで判断するのはどうかなと思います。増穂のコミバスの乗車数も何年もかかって増加していますよね。

アンケートを読ませていただきましたけれども、知らなかったと書いている方が何人かいらっしゃいましたし、もっと現地の方たちに働きかけてPRや聞き取りができるような場所を作っていただいて、地元の人たちの意見をくみ上げていただきたいと思います。

それと今成田委員がおっしゃったように、即廃止にするのではなく、このような席で地域の人たちの意見を取り入れていただきたいと思います。

高齢化は、白里地区に限らず進んでいきます。みずほ台地区等、交通不便地域は白里地区だけではありません。本当に廃止になってしまった場合、たとえばデマンドタクシーの運用等を考えていただければなと思います。

その中で例えば病院に行くにも、必ずしも市内の病院を利用しているとは限りませんよね。東金や茂原の病院に通っている方もいると思います。東金市もデマンドタクシーをやっているようですが、市内しか行くことができないようです。

市として近隣の市町村でそのような問題を協議してほしいと思うのですがいかがでしょうか。

**(議 長)**

事務局からの回答をお願いいたします。

**(事務局：米倉)**

課長の米倉でございます。いただいたご意見、反映させていただきたいと思います。目標達成状況による対策の「令和5年9月で運行を廃止する」を訂正いたしまして、「令和5年9月の運行廃止を協議する」という表現に変えさせていただきたいと思っております。

**(議 長)**

ありがとうございます。ご提案のとおりとするということですね。各地域を含めた

デマンドタクシーの運用については検討していくということによろしいでしょうか。

**(事務局：菊池)**

デマンドタクシーのご要望につきましては、市は財政が厳しく、すぐに導入というのは困難な状況です。引き続き近隣の自治体の情報等を研究していく中で、本市の導入可能性についても研究をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

**(議 長)**

ありがとうございました。関連法が改正されて、地域を越えた交通計画も行っていくましようということになっています。その点につきましてもご検討いただければと思います。他によろしいですか。池田委員、お願いします。

**(池田委員)**

目標達成の取り組みのうちPRのことについてです。自治会等の集まりでPRするとありますが、現在私が所属する自治会では50世帯中12世帯しか加入していないし、自治会をやめる方も多いです。そうすると、そこに所属していない方は、はまバスを知る方法がないため、自治会に所属していない人に対する働きかけをしていただければもうちょっと利用が増えると思います。

**(議 長)**

そういった地域の活動も活性化していかないと、地域そのものが衰退してしまいますよね。そこはまた市の中で関係部署と連携して行ってほしいと思います。

ここに書いてあるのは一例で、いろんな活動があると思いますのでその中ではまバスを使っていただければと思います。

ではみなさんからご意見をいただきましたので、先ほどの13ページの部分ですが、「令和5年9月で運行を廃止する」を訂正して、「令和5年9月の運行廃止を協議する」にするということで、事務局の説明のとおりに進めていくこととしてよろしいですか。賛成の方は挙手をお願いします。

＝賛成多数＝

賛成多数ですので、この案を承認ということにいたします。ありがとうございました。

**5 報 告**

**(議 長)**

次に、次第5の「報告」に入らせていただきます。

報告（１）「増穂地区コミュニティバスについて」及び、報告（２）「コミュニティバス車両への広告掲載について」を一括して、事務局の説明をお願いします。

**（事務局：弘中）**

～弘中主任主事から報告（１）、（２）について説明～

**（議 長）**

ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら挙手のうえ発言をお願いします。中村委員、お願いします。

**（中村委員）**

改めまして、千葉中央バスの中村と申します。４月から３年間よろしくお願いいたします。

バス利用特典のサービスの廃止について、まだ当社のホームページでも発表はしていないのですが、こういった機会ですので先行してご案内させていただきました。もともとＩＣカードの導入に関しましては、キャッシュレスの促進というところがひとつの狙いとしてありました。現在は導入されてから１０年経ち、利用者の約９割がＩＣカードを利用されている状況でございます。このようなことから、４月いっぱいをもちまして、当社ではバス特を廃止することにいたしました。しかしながら貯めていただいたポイントにつきましては、一定期間は使えるということになっております。

このような状況の中で、他のサービスでやれることはないか模索した結果、先ほどバスは弱者を救うためのものというお話がありました。代わりといたしましては、障がい者の方が利用される際、今は障害者手帳をお見せになって、支払っていただく形となっております。国土交通省等で推奨されておりました、ミライロＩＤという、スマホの中に障害者手帳の内容を入れておくと、スマホでバスや電車の料金を払うといった際に、スマホ１つで障害者手帳の提示と料金決済が可能になるものがあります。障害者の方にとってはいろいろなものを提示する手間が省け、また障害者手帳を提示しているところを見られたくないという方もいらっしゃると思いますので、こういったものを利用して対応させていただければと思います。

補足と併せてご挨拶とさせていただきます。

## **6 その他**

**（議 長）**

ありがとうございます。その他に何かありますか。

それでは２点報告については以上です。

６番その他ですが、事務局から何かございますか。

=意見無し=

それでは、現在コロナの影響で公共交通事業者は大きな打撃を受けていると思いますが、この状況をみんなで変えていかなければいけないと思っております。現在の状況について、公共交通事業者から説明をしていただけないでしょうか。

まず小湊鐵道さんからお願いします。

#### (宮崎委員)

小湊鐵道でございます。増穂地区のコミュニティバスは現在、当社で運行させていただいておりますが、来年度からは千葉中央バスさんになるということで、この経緯についてお話させていただければと思います。

現在コロナの影響で緊急事態宣言下で収入が減少し、経営を縮小していかなければならない状況となりました。今回のコミュニティバスについてもプロポーザルのお声がけをいただき、大変ありがたいお話だったのですが、当社の収支を採算したところ、現在の状況では賄えないということになり、プロポーザルからは辞退させていただいたという経緯です。

当社のみならず交通事業者は大変な影響を受けていると思います。当社でもこの3月末に創業以来ほぼ初となる赤字決算をする予定であり、この状況の中で今後どのようにやっていくかを模索しているところです。

直近でいうと2月末の実績は、路線バスにおいては前年比2割減、高速バスも前年比7割減となっております。当社の場合は、高速バスの売上で路線バスを賄うようなビジネスモデルでしたが、その形も崩れてしまいました。その中でかろうじて、経営しているゴルフ場は密ではないということで、利用客の減少がだいぶ収まっています。

また、バス特の廃止に関しまして、先ほど千葉中央バスさんからもありましたが、当社も4月1日からを予定しています。

その他、割引の廃止等も今後打ち出していかななくてはいけないと考えております。以上です。

#### (議 長)

ありがとうございました。続いて千葉中央バスさん。

#### (中村委員)

千葉中央バスです。

やはり小湊さんとほとんどの部分は変わらずということなのですが、一般路線バスにおきましては、当社でも2月は3割減になっております。昨年もコロナウイルスの影響で運賃収入が右肩下がりになりましたが、それを加味しても3割以上減っています。

高速バスにおきましても、大網白里市と東京駅を往復する深夜急行バスと、その他大網から成田空港までの便がありますが、これらは今特別ダイヤで運行しております。この時期だと、本来でしたら1便あたり13～14人程乗っているはずですが、現在は3名以下しか乗っていただけていなく、動かせば動かすほど赤字になってしまうという状況です。そうはいつても社会インフラの役目を担っているため、影響が出ない程度に減便し、路線維持という形で考えております。

しかしながら、今回緊急事態宣言が延長されたことも重なり、その影響は大きいです。このままいくと21日には緊急事態宣言が解除されると思います。当社も感染防止には非常にお金をかけておりますので、不要不急はともあれ、必要な外出は是非とも公共交通機関を利用いただきたいと思います。以上です。

#### (議 長)

ありがとうございました。それでは秋葉タクシーさん、よろしく申し上げます。

#### (秋葉委員)

改めまして秋葉です。よろしくお願ひいたします。

ただいまバス事業者さんからのお話があったように、タクシー事業においてもコロナウイルスの影響は大きく出ております。弊社は大網白里市内のみで営業しているタクシー会社で、大網駅に常駐しながら市内のお客様を中心に送迎させていただいております。

一番減少率が高かったのは、1回目の緊急事態宣言が出た4、5月で、前年比3割程度まで落ち込みました。緊急事態宣言が明けて以降は、大体6～7割くらいと回復したのですが、11月頭から再度感染者数が増え、緊急事態宣言が発令されたということで再び徐々に減少し、1月は約5割ほどに落ち込んでいます。2回目の緊急事態宣言が解除されて、回復することを期待しておりますが、現在はこのような状態で推移しています。その中でも、車両数等を維持し、回復したときに通常通りのサービスを提供できるようにしていきたいと思っております。

併せて弊社は、はまバスの事業者として運行させていただいております。タクシーの利用者は昨年4、5月で3割程度の落ち込みがあったため、はまバスはもっと影響が出るかと思いましたが、運行ルートが変わったということもあり、前年と比べて利用者が非常に増えています。リピーターの方たちが、利用していただいていることでなんとか継続していけます。

タクシーの利用状況と一概に比較はできないのですが、もしこの数字がコロナの影響だとしたら、実際はもう少し伸びていたのではないかなと思います。大網病院含め、駅や市役所を通るため、特に人が多い場所を控えている方が増えている関係で数値として表れているのではないかなと考えています。以上です。

#### (議 長)

ありがとうございました。つづいてバス協会の成田委員、よろしくお願いたします。

#### (成田委員)

バス協会の成田でございます。

県内の状況について簡単にご説明させていただきます。先ほど乗合いバスの状況についての話が出ました。千葉県は成田空港に集まる高速バスとアクアラインを通過する高速バスが多いのですが、これらの高速バスと貸切りバスが大体同じような状況で低下しております、まだそれが続いています。

昨年からはバス協会でもご案内しておりますのは、修学旅行等の行事でご利用のあったときに乗合いバス同様に貸切りバスについても感染防止対策をとっております。バスは空気がこもっているのではうつってしまうのではないかと懸念があるようですが、換気の性能も良く、絶えず外の空気を取り込んでおり、3分ほどで空気の入替が完了します、バスの乗車中による感染は少ないということがいろいろな研究でわかっております。

緊急事態宣言が解除されることもありますので、何か出かけることがある際は、是非公共交通機関をご利用ください。私からは以上です。

#### (議 長)

ありがとうございました。それでは最後につくもタクシーさん、よろしくお願いたします。

#### (糸日谷委員)

はい、私はタクシー協会の東総支部の地域公共交通担当をしております。

大網白里市が含まれるのは、山武東金地区という地域になるのですが、その地域の輸送回数は前年比43%減、輸送人員も43%減、一日の売上は38%減となっております。それから千葉県全体ですと、輸送回数は47%減、輸送人員は50%減、運賃収入については、48%減となっております。

実は今年の2月に約10%の値上げをしており、タクシーメーターも変えなければならず、その費用もかさみ、今タクシー業界は大変な状況になっております。以上です。

#### (議 長)

ありがとうございました。交通事業者は大変厳しい状況のなかコロナウイルス感染対策をしっかりといただいているというご紹介も含めてお話をいただきました。

私も公共交通の研究をしている中で、公共交通機関でコロナウイルスのクラスターリスクというのはそれほど無く、マスクをして正しく感染防止をすればうつりま

せん。今遠くへ行くことができないので、みなさん近場で済まそうとします。そう  
いったときに利用していただいて、地域公共交通を支える事業者さんを今地域の皆  
さんで支えていきましょう。よろしく願いいたします。

では他に何かございますか。

=意見なし=

無いようですので、進行を事務局にお返しいたします。

#### 4 閉 会

(事務局：加藤岡)

はい、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところご出席いただき、また長時間にわた  
るご協議、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和2年度第4回大網白里市地域公共交通活性化協議会を終了  
とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。 (終了)